

「がんとの共生のあり方に関する検討会」 開催要綱

1. 趣旨

令和5年3月に閣議決定された「第4期がん対策推進基本計画」において、「がんとの共生」を3本の柱のひとつに掲げ、「がんになっても安心して生活し、尊厳を持って安心して暮らせる地域共生社会を実現する」としている。この実現のために、医療・福祉・介護・産業保健・就労・教育支援分野等と連携し、効率的な医療・福祉・保健サービスの提供や、就労・教育支援等を行う仕組みの構築を進めていくこととしている。

本検討会においては、相談支援、情報提供、緩和ケア、サバイバーシップ支援及びライフステージに応じた療養環境への支援により、全てのがん患者及びその家族等の療養生活の質を向上させることを目指し、がんとの共生のあり方について、俯瞰的かつ戦略的な対策等を検討する。

2. 検討事項

- (1) 緩和ケアの質の向上策
- (2) 多様なニーズを踏まえた相談支援及び情報提供の質の向上策
- (3) サバイバーシップ支援に関する質の向上策
- (4) ライフステージに応じた療養環境への支援に関する質の向上策
- (5) その他、第4期がん対策推進基本計画のうち、「がんとの共生」に掲げられている項目のうち必要な事項

3. その他

- (1) 本検討会は、厚生労働省健康・生活衛生局長が別紙の構成員の参集を求めて開催する。
- (2) 本検討会には、構成員の互選により座長をおき、検討会を統括する。
- (3) 本検討会は、必要に応じ、別紙構成員以外の有識者の参集を依頼することができるものとする。
- (4) 本検討会は、原則として公開とする。
- (5) 本検討会の庶務は、健康・生活衛生局がん・疾病対策課が行う。
- (6) この要綱に定めるもののほか、本検討会の開催に必要な事項は、厚生労働省健康・生活衛生局長が定める。

「がんとの共生のあり方に関する検討会」 構成員名簿

- 木澤 義之 筑波大学医学医療系緩和医療学教授
日本緩和医療学会 理事長
- 岸田 徹 NPO 法人がんノート 代表理事
- 黒瀬 巖 公益社団法人日本医師会 常任理事
- 河野 英明 愛媛県保健福祉部医療政策監
- 近藤 明美 近藤社会保険労務士事務所 代表
特定社会保険労務士
- 坂本 はと恵 国立がん研究センター 東病院
サポーターズケアセンター 副サポーターズケアセンター長
公益社団法人日本医療ソーシャルワーカー協会 理事
- 塩川 満 東京女子医科大学病院 薬剤部長
一般社団法人日本緩和医療薬学会 副代表理事
- 鈴木 美穂 認定 NPO 法人マギーズ東京 共同代表理事
- 西田 俊朗 独立行政法人地域医療機能推進機構 大阪病院 院長
国立研究開発法人国立がん研究センター 理事長特任補佐
- 牧野 和子 一般社団法人日本介護支援専門員協会 常任理事
- 森内 みね子 公益社団法人日本看護協会 常任理事
- 渡邊 清高 帝京大学医学部内科学講座 教授

(五十音順・敬称略)